

豊かなむらづくり顕彰 新田作コーポレーション(常葉町)が農業生産部門で受賞

2月6日、「豊かなむらづくり顕彰事業」の農業生産部門で表彰を受けた、常葉町の農事組合法人新田作コーポレーションの渡邊幸蔵さんと、渡邊義輝さんが市役所を訪れ、市長に受賞の報告を行いました。

同団体は、地域の将来を見据えて、地区内の担い手により設立した団体で、水稲経営を専業とし、転作・水田活用の直接支払交付金事業等を活用して農地の一元管理による集約と団地化を図るとともに、ドローンを用いた防除による品質向上、省力化による収益向上に取り組んでいます。



ドローン 船引高校ドローン科学探究部 活動報告・成果物贈呈

1月6日、船引高校ドローン科学探究部員が市役所を訪れ、市長に活動報告と市役所本庁舎の3Dモデルの贈呈を行いました。慶應義塾大学SFC研究所ドローン社会共創コンソーシアムは、ドローン人材の育成を目的にドローン特別講座を開講しています。講座の中で部員が市役所を空撮し、3Dモデルを作成しました。

市長は部員たちへ感謝を述べ、将来の職業や地域課題の解決にドローンを役立ててほしいと期待を寄せました。※13ページの船高便りでは、部員のインタビュー記事を掲載。



算数・数学ジュニアオリンピック 楽しく!熱い!算数・数学の祭典で入賞

2月2日、令和4年度福島県算数・数学ジュニアオリンピック(主催:県教育委員会)で銅メダルを獲得した横山佳音さん(船引小学校6年)と、奨励賞を受賞した猪越天綾さん(船引中学校2年)が市役所を訪れ、市長と教育長へ受賞の報告を行いました。2人は、今回の経験を生かして来年も挑戦し、上位入賞を目指したいと抱負を述べました。市長、教育長からは、さらに努力を重ねて、田村市、福島県の未来を担う人材になってほしいと励ましの言葉が送られました。2人が挑戦した問題を見たい場合は、県教育委員会のホームページをご覧ください。



▲左から、市長、猪越さん、横山さん、教育長

児童画展 大越小 渡邊観明さんが最高賞の「児童画展賞」を受賞

第36回福島県児童画展(主催:県小学校教育研究会画工作科研究部会)の6年生の部で大越小学校の渡邊観明さんが最高賞の「児童画展賞」を受賞しました。

渡邊さんの作品「月の光の中の黒ひょう」(多色刷版画)は、暗闇と同化した黒ひょうが、月の光を浴びて行動を開始する姿を表現したものです。

また、本作品は県作文コンクール特選作品集「ふくしまの子ら」の表紙に採用されています。



渡邊観明さん



「月の光の中の黒ひょう」

公民館 5館合同事業 椅子ヨガで気軽にエクササイズ

1月29日、船引公民館で5館合同事業のスポーツ&カルチャー教室「椅子で出来るヨガとリフレッシュエクササイズ」が開かれ、約30人の市民が参加しました。

椅子ヨガは、椅子に座ったまま気軽にできるエクササイズで、体の調子に合わせて無理なくできるうえ、仕事や家事の合間にも行うことができます。

参加者は、椅子ヨガのほか、脳を活性化させる運動などで心地よい汗を流していました。



常葉アソベンチャークラブ 昔遊び&団子さし体験

1月22日、常葉アソベンチャークラブ「昔遊び&団子さし体験」が開かれ、6人が参加しました。

昔遊びでは、都路民話の会の皆さんが読み手となり「田村方言ジャンボかるた」でかるた取りや、福笑い、団子さしで楽しいひとときを過ごしました。また、JA女性部常葉販売グループの皆さんに、お餅や団子、豚汁を作っていたき参加者全員でつくたてのお餅などを食べて小正月の行事を楽しみました。



都路町行政区対抗 白熱のラリー インディアカ大会

2月5日、都路町スポーツ振興会が主催する「第13回都路町行政区対抗インディアカ大会」が、古道体育館で開かれました。

年齢不問の1部に14チーム、男性45歳以上の2部に4チームの合計18チームが出場し、熱戦を繰り広げながら親睦を深めました。

成績は次のとおりです。

- 1部(年齢不問)
優勝:さんく-ヤング2チーム(第3行政区)
準優勝:9区Bチーム(第9行政区)
第3位:さんく-ヤング1チーム(第3行政区)
10区チーム(第10行政区)
- 2部(男性45歳以上、女性年齢不問)
優勝:TOYA-Bチーム(第8行政区)
準優勝:セブーン-Bチーム(第7行政区)



▲1部優勝:さんく-ヤング2チーム



▲2部優勝:TOYA-Bチーム